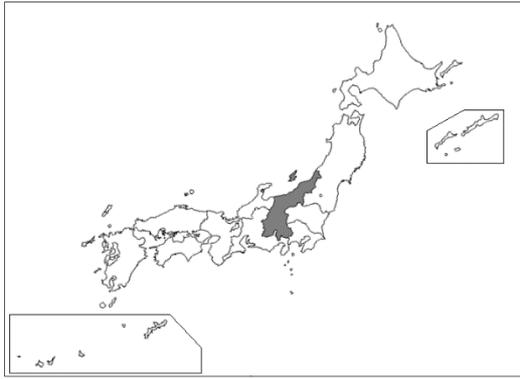


## (5) 甲 信 越



甲信越地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

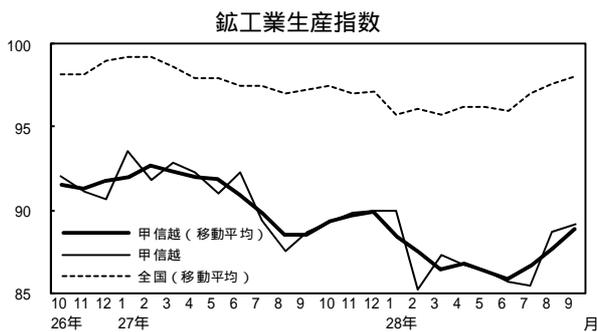
- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きが続いているものの、足踏みがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(    は上方に変更、    は下方に変更)

### 1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。

7～9月期には、電子デバ、電気・情報通信は、自動車関連が堅調で増加した。汎・生産・業務用機械は、輸出に弱さがみられるが国内需要は堅調で増加した。石油・石炭製品、化学、プラ製品は増加した。鉄鋼業、非鉄金属、金属製品は減少した。輸送機械は、おおむね横ばい。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		4～6 月期	7～9 月期	7月	8月	9月
電子デバ、電気・情報通信	42.8	1.5	3.5	2.8	10.6	2.7
汎・生産・業務用機械	17.9	2.2	1.3	1.0	1.6	4.8
石油・石炭製品、化学、プラ製品	10.5	1.4	0.7	1.8	1.1	2.9
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	8.6	0.8	0.2	0.0	0.2	1.7
輸送機械	7.1	1.4	0.1	0.7	0.2	4.9
鉱工業	100.0	1.4	1.7	0.4	3.9	0.5

- (備考) 1. 22年=100、季節調整値、最新月は速報値。  
2. 全国及び甲信越の大線は中心3か月移動平均、直近月は2か月平均。  
3. 甲信越は内閣府にて算出。

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。  
2. 7～9月期、9月は速報値。

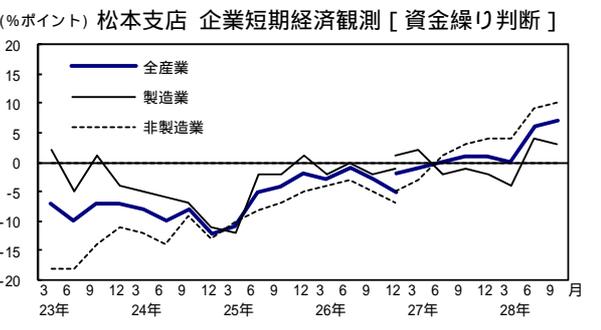
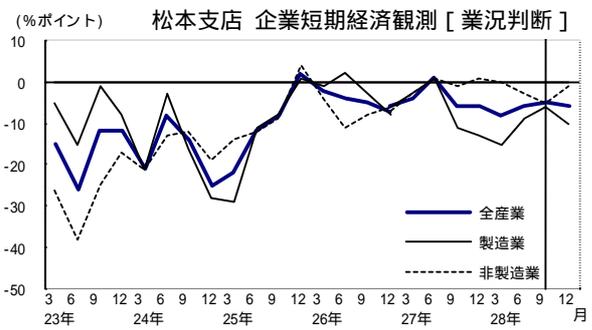
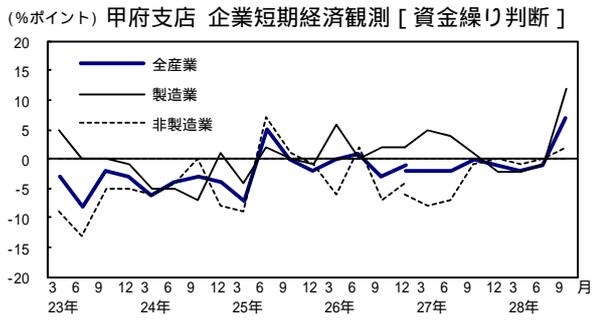
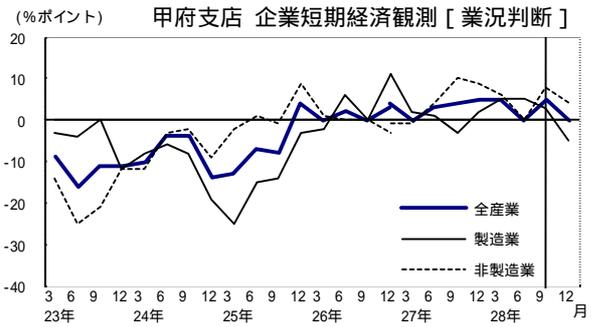
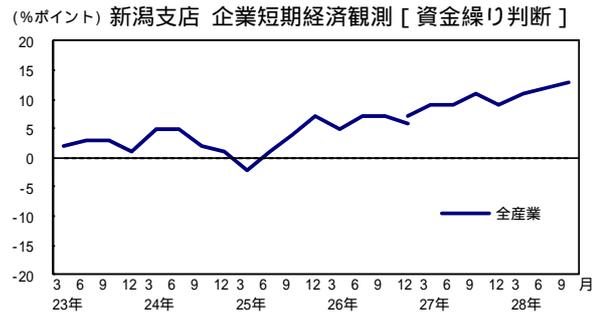
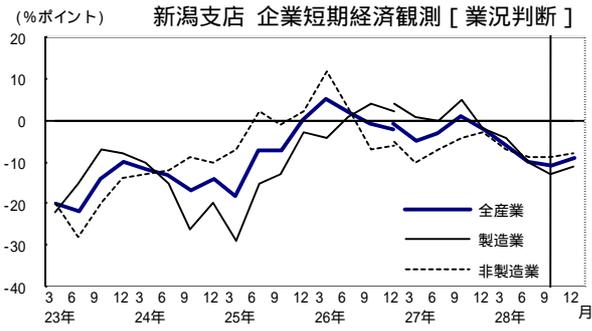
(2) 新潟支店の企業動向の業況判断は「悪い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ横ばいとなっている。

甲府支店の企業動向の業況判断は「良い」超に、資金繰り判断は「楽である」超にそれぞれ転じている。

松本支店の企業動向の業況判断は「悪い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ横ばいとなっている。

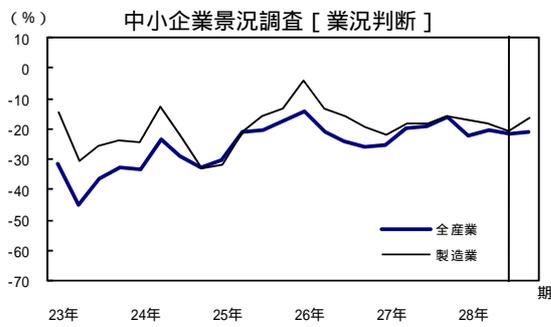
(5) 甲信越

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。28年12月は予測。  
26年12月は新・旧基準を併記。

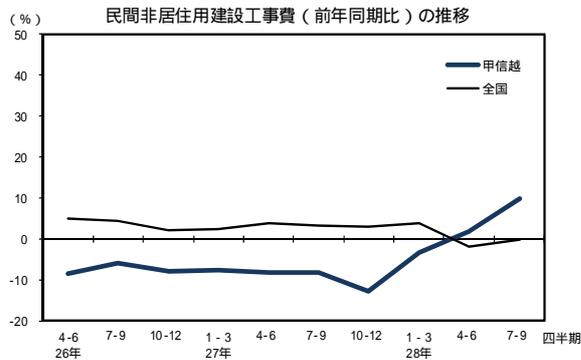
(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。  
26年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。28年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(10月調査結果)[企業動向関連(現状)]  
 「前年に比べれば、仕事の確保をしやすくなったが、継続的な仕事は少なく、なかなか上昇する気配はない(電気機械器具製造業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は、大幅に増加している。



企業短期経済観測調査[設備投資(9月調査)]

	(前年度比、%)	
	27年度実績	28年度概
全産業		
新潟支店	8.4	9.9 (1.9)
甲府支店	3.0	1.6 ( 9.6)
松本支店	1.5	10.2 ( 1.1)
製造業		
新潟支店	11.4	26.3 (1.3)
甲府支店	13.3	19.5 (12.8)
松本支店	2.9	13.0 ( 1.4)
非製造業		
新潟支店	5.8	3.6 (2.6)
甲府支店	14.6	21.6 (3.8)
松本支店	19.3	4.2 (0.8)

(備考)( )は前回(6月)調査比修正率。

## 2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きが続いているものの、足踏みがみられる。

地域別消費総合指数(RDEI(消費))

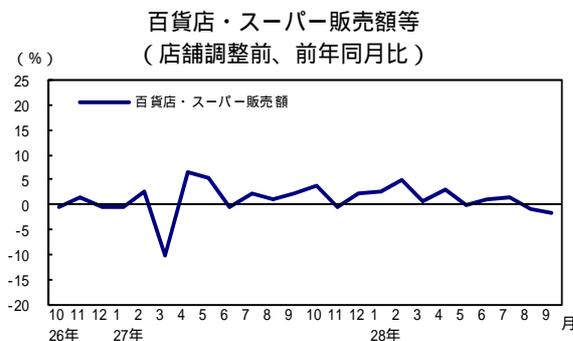
7月は前月比0.5%増、8月は同0.2%減、9月は同0.7%減となった。

百貨店・スーパー販売額

7月は、衣料品、家庭用品は前年を下回ったが、飲食物品、身の回り品が前年を上回ったため、全体として前年を上回った。8月は、衣料品、家庭用品、身の回り品が共に前年を下回り、全体として前年を下回った。9月は、天候不順の影響もあって、多くの品目で前年を下回ったため、全体として前年を下回った。

景気ウォッチャー調査(10月調査結果)[家計動向関連(現状)]

「野菜の価格高騰により単価は安定しているものの、来客数が伸びていない(スーパー)」などの回答がみられた。



	28年7-9月	28年7月	8月	9月
RDEI(消費*1)	0.1	0.5	0.2	0.7
百貨店・スーパー(*2)	0.4	1.4	1.0	1.6
乗用車(*3)	3.7	5.3	0.1	4.8
(季節調整値)(*3)	0.3	4.0	5.3	4.1

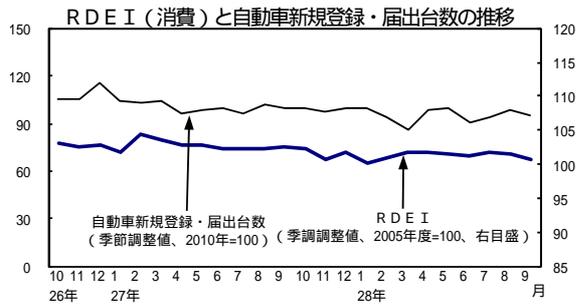
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

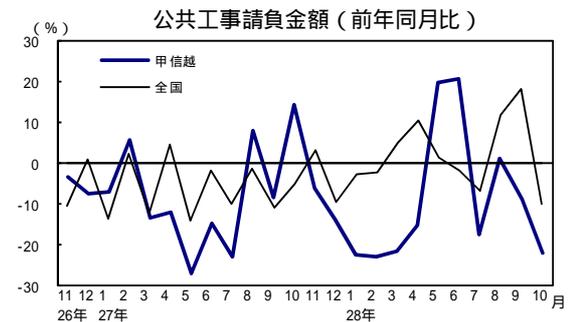
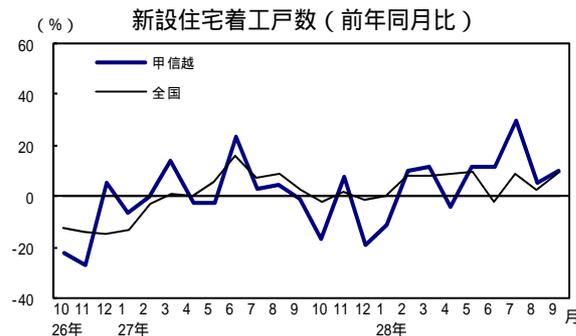
店舗調整前、前年同期(月)比(%)

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

(5) 甲信越

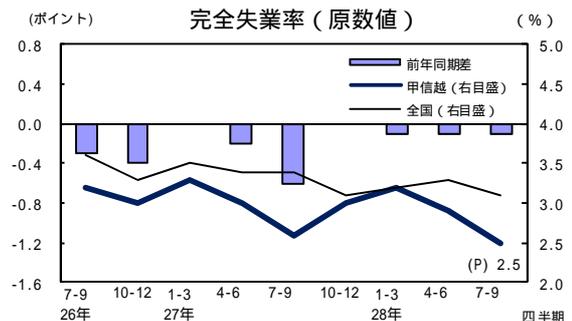
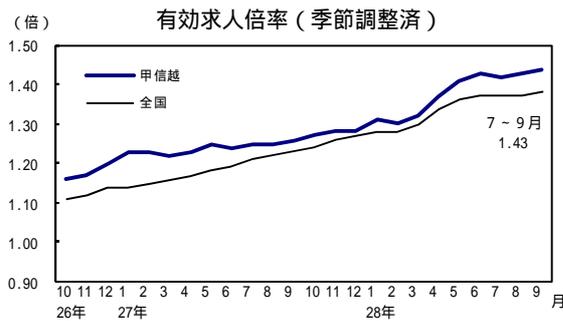


- (2) 住宅建設は、大幅に増加している  
持家、貸家が前年を上回ったことから、全体では大幅に増加している。
- (3) 公共投資は、28年度累計で見ると前年度とほぼ同水準となっている。



3. 雇用情勢等

- (1) 雇用情勢は着実に改善している。  
有効求人倍率及び完全失業率  
有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



(備考) 1. 甲信越は内閣府にて算出。  
2. 7-9月期の値は暫定値。

景気ウォッチャー調査 (10月調査結果)[雇用関連 (現状)]

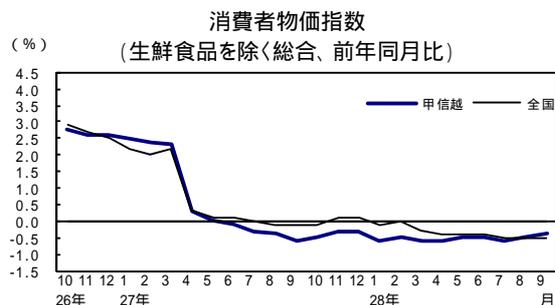
「相変わらず、最低賃金をわずかに超える求人募集が多いためか、労働者の働く意欲が湧かない(人材派遣会社)」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数はおおむね横ばい、負債総額は増加している。

(3) 消費者物価指数は、前年比の下落幅がおおむね横ばいとなっている。

#### 企業倒産

	(件、億円、%)				
	27年10-12月	28年1-3月	4-6月	7-9月	28年10月
倒産件数	60	69	53	49	18
(前年比)	20.0	19.0	13.1	2.0	21.7
負債総額	199	159	88	341	39
(前年比)	130.5	2.1	52.6	56.3	64.5



(備考) 甲信越は内閣府にて算出。

#### 景気ウォッチャー調査(10月調査結果)[合計(特徴的な判断理由)]

<現状>

- ・節約志向が高まってきたのか、保留、解約が高齢者世帯以外にも増えてきている(通信会社)。

<先行き>

- ・最近は気温の変化でいろいろ良かったが、特別その他に変わる要因は身近にないようなので、あまり変わらない(コンビニ)。

